

別紙

ADL・IADL 評価

困難度と改善可能性	できる		だいたいできる		あまりできない	
	楽にできる	少し難しい	改善可能性高い	改善可能性低い	改善可能性高い	改善可能性低い
判定	○1	○2	△1	△2	□1	□2

氏名		生年月日(歳) 性別	年 月 日 (歳) 男・女
----	--	----------------	-------------------

生活機能	事業開始時(年 月 日)		3ヶ月終了時(年 月 日)		6ヶ月終了時(年 月 日)	
	現状	本人・家族の意向等	現状	本人・家族の意向等	現状	本人・家族の意向等
ADL	室内歩行					
	屋外歩行					
	外出					
	排泄					
	食事					
	入浴					
	着脱衣					
IADL	掃除					
	洗濯					
	買物					
	調理					
	整理・物品の管理					
	ごみ出し					
	通院					
	服薬					
	金銭管理					
	電話・PC					
	社会参加					
趣味活動						
考察と対応						
次回の確認・引継ぎ事項						

別紙

ADL・IADL 評価

困難度と改善可能性	できる		だいたいできる		あまりできない	
	楽にできる	少し難しい	改善可能性高い	改善可能性低い	改善可能性高い	改善可能性低い
判定	○1	○2	△1	△2	□1	□2

生活機能	9ヶ月終了時(年 月 日)		1年(12ヶ月)終了時(年 月 日)		年 々月(々月)終了時(年 月 日)	
	現状	本人・家族の意向等	現状	本人・家族の意向等	現状	本人・家族の意向等
ADL	室内歩行					
	屋外歩行					
	外出					
	排泄					
	食事					
	入浴					
	着脱衣					
IADL	掃除					
	洗濯					
	買物					
	調理					
	整理・物品の管理					
	ごみ出し					
	通院					
	服薬					
	金銭管理					
	電話・PC					
	社会参加					
	趣味活動					
考察と対応						
次回の確認・引継ぎ事項						

別紙

ADL・IADL 評価

記入例

困難度と改善可能性	できる		だいたいできる		あまりできない		
	楽にできる	少し難しい	改善可能性高い	改善可能性低い	改善可能性高い	改善可能性低い	
判定	O1	O2	△1	△2	□1	□2	
	N相当	J相当	A相当				
生活機能	事業開始時(年 月 日)			3ヶ月終了時			
	現状	本人・家族の意向等		現状	本人・家族の意向等		
ADL	室内歩行	O1		現状を6段階で示してください。			
	屋外歩行	O2	杖歩行				
	外出	O2	町内の小売店に行く				
	排泄	O1					
	食事	O1					
	入浴	O1	ほぼ毎日家風呂に入る				
	着脱衣	O1					
IADL	掃除	O2	時々掃除機もかける				
	洗濯	O2					
	買物	O2	町内の小売店にほぼ毎日行く	本人: サロンは行ったら楽しいので行きたい。うっかり忘れて行かん時もある。ボケない様に人と話さないかんと思っている。			
	調理	O2	娘の差し入れや出来合いのおかずを買う。ご飯は炊く。				
	整理・物品の管理	O2					
	ごみ出し	△2	集めてあるのを近所の娘が捨てる				
	通院	△2	近所の娘が送迎している				
	服薬	△2	娘がセットしておくとお飲むがたまに飲み忘れある。	近所の〇〇さん: 最近、サロンには来なくなった。忘れていないか? 帰っている姿は良く見る。	していない場合は、していないと記載する。		
	金銭管理	O2	近所のJA窓口で下ろす				
	電話・PC		していない		現状や意向から、本人の“～したい”や現状の理由と取り組んだことを記載する。		
	社会参加	△1	サロンは休み続く				
趣味活動	O1	毎日畑に行く					
考察と対応	本人は、杖歩行を、杖無しで歩行希望。膝痛も考慮し、個別プログラムや自宅での運動で改善できるように。						
今後の支援方針	今後の支援方針を記載することで、継続支援に活かします。						
次回の確認・引継ぎ事項	杖歩行の頻度の確認を行い、運動時に歩行バランスの確認						

本人の意欲を持って取り組み、改善できたことを実感できるように6段階で評価。
 それぞれの判定の目安 (J・A・B・C相当) については、日常生活自立度を参考に示している。
 視覚的にも□→△→○へ変化すると改善したという解釈になる。

現状を6段階で示してください。

していない場合は、していないと記載する。

現状や意向から、本人の“～したい”や現状の理由と取り組んだことを記載する。

今後の支援方針を記載することで、継続支援に活かします。